

第17回 日本の次世代 リーダー養成塾

問い合わせ先: **日本の次世代リーダー養成塾**

専務理事・事務局長 加藤 暁子

(携帯: 090-1113-3914)

〒107-0062 東京都港区南青山5-12-28-403

Tel: 03-5466-0804 Fax: 03-5466-0842

Mail: info@leaderjuku.jp URL: <https://leaderjuku.jp/>

「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ 社会をどう変革していくか～高校生からの提案」 「アジア・ハイスクール・サミット」オンラインで討議

「日本の次世代リーダー養成塾」は、一般社団法人日本経済団体連合会の中西宏明会長を塾長に、日本だけでなく、世界に通用するリーダーの育成を目指した高校生対象のサマースクールです。経済界や地方自治体がスクラムを組み、2004年に開塾、今年で17回目を迎えます。これまで巣立った卒塾生は2802人。日本や海外の大学や大学院に進学・留学した後に、社会人として、外交官、国家公務員や地方公務員、医師、教師、起業家、金融機関や商社、製造業、流通など日本を代表する企業や、国際機関に勤めたり、自ら世界各地でNGOを立ち上げて、社会のために貢献できる人財として、活躍しています。

昨年まで毎年、2週間、福岡県宗像市と佐賀県唐津市で合宿によるサマースクールを行ってきましたが、今年は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、いかに開催できるかを模索いたしました。8月8日(土)から12日(水)までと、8月23日(日)から9月13日(日)にかけての毎週日曜日に、日本や世界を代表する講師によるオンライン講義と、高校生が主役となってオンラインで討議する「アジア・ハイスクール・サミット」を、9月19日(土)から22日(火)までは福岡県宗像市のグローバルアリーナで「アジア・ハイスクール・サミット」の発表会を兼ねた合宿をすることになりました。「アジア・ハイスクール・サミット」のテーマは、「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか～高校生からの提案」です。参加高校生は、21都道府県 174人です。サミットの指導は、企業や地方自治体から派遣された中堅の社員や職員と、卒塾生を中心とした大学生が務めます。(詳細は別紙)

オンライン講義の講師は、17回連続講師を務めていただいているマレーシアのマハティール前首相、明石康・元国連事務次長、今年初めて、元厚労省事務次官の村木厚子・津田塾大学客員教授、感染症のエキスパートである山本太郎・長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授、田口一成・株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役社長ら21人です。(講師一覧は別紙参照)

合宿では、「アジア・ハイスクール・サミット」の発表会を行います。また、アジアの高校生とオンラインでつないで、アジアの高校生がコロナ禍にいかに関与し、どんな取り組みを行っているかなど、討論する予定です。最終日には、世界遺産である宗像大社・厳島神社(総社)を見学し、日本古来の文化を守り伝えることの重要性、日本人として海や里、山の恵みに感謝し、環境を大切にすることを学びます。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況いかにあっても、参加高校生の安全を第一に考え、合宿の開催を中止し、オンラインに切り替える可能性があります。合宿の有無は8月末までに決定します。合宿の詳細は、9月に入って、発表させていただきます。

【アジア・ハイスクール・サミット】

「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか～高校生からの提案」

リーダー塾では、講師による講義を受けることに加えて、期間を通して、決まったテーマのもとで塾生同士、徹底的に議論をして政策を打ち出す「アジア・ハイスクール・サミット」を実施しています。解決することが難しい社会課題に挑戦して、やがて近い将来、リーダーとなったときにどう、課題に取り組み、解決できるか、高校生のうちから経験するのが狙いです。

今年は、世界中を襲っている新型コロナウイルス感染症の拡大で、高校生たちも学校にいけない日々が3月から続き、一人一人が当事者となって、解決が難しい課題に日々挑戦してきました。そこで、「ウィズ・コロナからポスト・コロナへ社会をどう変革していくか～高校生からの提案」と題して討議します。

現在、世界保健機関(WHO)によると、8月2日現在、216ヵ国1766万人が感染、死者は68万人にのぼっています。

コロナ禍に世界中の人々が苦しんでいます。感染リスクを避けるために、生活の様式も一変し、コロナ禍による暴動、社会不安、企業の倒産、失業など、様々な問題が世界中で起こっています。

固定概念を取っ払って、自然科学、社会科学など分野を問わず、様々な方面からウイルスといかに共生して、新しい社会をつくりあげていくのか。次世代を担っていく高校生たちが、答えのない課題に柔軟な頭で激しく考えて、解決策を導き出すプロジェクト型の取り組みです。

具体的には、8つのクラスに分かれて、①コロナ禍での課題は何か②教育、医療、社会福祉、経済など、クラスごとに好きな分野を選び③その分野ごとにポスト・コロナの社会はどうあったらいいか具体策を出します。クラスでは、初日にサミットのまとめ役である学級委員を2人選出。サミットには、企業や地方自治体から派遣された担任の先生と、大学生のボランティアである学生リーダーが指導・サポートをします。

9月21日、クラスごとの発表を福岡県宗像市で行う予定です。

【添付資料】

事業概要

講師一覧

オンライン講義カリキュラム表

塾生概要

塾生学校一覧

役員名簿

第17回日本の次世代リーダー養成塾講師

(敬称略、五十音順)

1. 明石 康 / 元国連事務次長、(公益)国立京都国際会館理事長
2. 葦津 敬之 / 宗像大社宮司
3. 麻生 渡 / 福岡工業大学最高顧問、元全国知事会会長
4. 小川 洋 / 福岡県知事
5. 金子 秀敏 / 毎日新聞客員編集委員
6. 笠谷 和比古 / 大阪学院大学法学部教授(専門、歴史学・武家社会論)
7. 鎌田 實 / 諏訪中央病院名誉院長
8. 榊原 英資 / (一財)インド経済研究所理事長、元財務相財務官
9. 佐々木久美子 / (株)グルーヴノーツ代表取締役会長
10. 滝 久雄 / (株)ぐるなび取締役会長・創業者、(株)NKB取締役会長・創業者
11. 田口 一成 / (株)ボーダレス・ジャパン代表取締役社長
12. 出口 治明 / 立命館アジア太平洋大学学長
13. マハティール・モハマド / マレーシア前首相
14. 宮川眞喜雄 / 内閣国家安全保障局国家安全保障参与
15. 村岡 浩司 / (株)一平ホールディングス代表取締役社長
16. 村木 厚子 / 津田塾大学客員教授、元厚生労働省事務次官
17. 室伏 きみ子 / お茶の水女子大学長
18. 山口 祥義 / 佐賀県知事
19. 山本 太郎 / 長崎大学熱帯医学研究所国際保健学分野教授
20. 李 鳳宇 / 映画プロデューサー、(株)マンシーズエンターテインメント代表、
日本大学芸術学部映画学科講師
21. 加藤 暁子 / 日本の次世代リーダー養成塾専務理事・事務局長、
(公財)AFS日本協会理事長

(2020年8月5日現在)